

18. 泌尿器科（選択）

1. 一般目標（G I O）

- (1) 一般医として必要な泌尿器科領域の診察法、診断法、治療法を理解する。
- (2) 比較的簡単な泌尿器科的処置、手技手法を行う能力を習得する。
- (3) 泌尿器科専門医に紹介すべき疾患を理解する。
- (4) 幅広い人間形成を行い、チーム医療の一翼を担う態度を身につける。

2. 行動目標

- (1) 代表的疾患の診断、処置に加わる。
- (2) 代表的疾患を受け持ち、診察、検査、治療に関する。
- (3) 患者さんや家族の心情に配慮する。
- (4) カンファレンスや抄読会に参加する。
- (5) スタッフと良好なコミュニケーションを図る。
- (6) 泌尿器科的救急疾患の診断・治療を実施する。
- (7) 泌尿器科疾患を鑑別し、必要に応じて専門医へ紹介する。

3. 研修目標

- (1) 経験したほうがよい主要疾患
 - 1) 前立腺肥大症
 - 2) 前立腺がん・膀胱がん
 - 3) 神経因性膀胱
 - 4) 腎・尿管結石
 - 5) 腎盂腎炎
 - 6) 腎後性腎不全
- (2) 研修すべき主な診断・検査法
 - 1) 腎、膀胱、精巣、前立腺の超音波検査
 - 2) 尿道、前立腺分泌物採取
 - 3) 残尿測定
 - 4) 内視鏡検査
 - 5) 経静脈的腎盂腎炎、膀胱尿道造影
 - 6) 検査を指示し、結果を解釈できる。
 - ① 尿細菌学的検査、感受性試験
 - ② 尿道、前立腺分泌物細菌学的検査、感受性試験
 - ③ 一般血液検査
 - ④ 核医学的検査（レノグラム・骨シンチグラム）
 - ⑤ 副腎、腎、尿管、膀胱、前立腺CTスキャン、MRI
 - ⑥ 内分泌学的検査
 - ⑦ 腎、前立腺、精巣腫瘍マーカー
 - ⑧ 尿細胞診検査
 - ⑨ 一般検尿

(3) 研修すべき治療法

1) 薬物療法

- ① 尿路感染症
- ② 排尿障害
- ③ 尿路性器腫瘍（抗癌剤の効果、副作用の定量的評価）

2) カテーテル留置に関する基本手技の理解と実践

- ① 導尿法
- ② 体外留置カテーテル交換
- ③ 腎盂洗浄、膀胱洗浄

3) 泌尿器科的手術手技

*助手として参加する手術

- ① 観血的手術
- ② 内視鏡的手術、腹腔鏡的手術

*執刀医としての手術

- ① 陰嚢水腫手術

4. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:15～	朝回診	朝回診	朝回診	朝回診	朝回診
9:00～	外来	回診	回診	外来	外来
11:00～		手術			
13:00～			外来	手術	
15:00～			レントゲン・処置		
16:00～				手術	
17:00～	夕回診	夕回診	夕回診 症例検討	夕回診	夕回診

5. 研修方法

- (1) 病棟回診に参加する。
- (2) 検査、薬剤の処方指示する。
- (3) 病棟看護師の報告を受け、適切に判断、指示を行う。
- (4) 外来新患者の問診を行い、指導の指示のもとに検査を行う。
- (5) 症例検討会に出席する。
- (6) 手術に助手、ときに執刀医として参加する。
- (7) 挨拶を励行し、医療チームの一員として戦力になることを心がける。